

「水引小学校の郷土調べ学習の取組」

1 学校名

薩摩川内市立水引小学校

2 学年・人数

3・4年生 44人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

- ・ 学習会：4月～7月 ふるさと・コミュニケーション科
「ふるさとマップを作ろう」

郷土調べ学習（現地見学・5月・寄田，滄浪地区）

(2) 発表の日時・場所

7月 ふるさとマップ発表会（本校）

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 慶長の役記念碑（けいちょうのえききねんひ）：明治時代
- ・ 久見崎軍港跡（ぐみざきぐんこうあと）：藩政時代

(2) 特徴

- ・ 慶長の役記念碑

慶長の役（1597年）の際，島津義弘が1万余の兵士を率いて久見崎から出兵した。翌年には豊臣秀吉の死により全軍引き上げとなったが，兵士の中には戦病死した者も多く，帰らぬ兵士たちを悼んで，久見崎の夫を亡くした女性たちの間で「想夫恋」が踊られるようになった。明治時代になって「想夫恋」が踊られる場所に近い現地に，東郷元帥書による「慶長の役記念碑」が建てられた。

- ・ 久見崎軍港跡

薩摩藩の時代に，久見崎に軍船を作る造船所や軍港があった。慶長の役の際も島津義弘が率いる船団が，久見崎軍港から出港した。

5 保存会や地域との連携の具体

郷土調べ学習（現地見学）の際に，「久見崎盆踊り『想夫恋』保存会」の方をお招きし，現地で想夫恋や慶長の役記念碑について説明していただいた。

6 活用の取組の工夫した点

事前に寄田，滄浪地区のコミュニティ協議会に協力を依頼し，保存会の方との日程調整や学習内容の打合せを行った。

7 取組の様子



「慶長の役記念碑についての説明」



「慶長の役記念碑についての説明」



「久見崎軍港についての説明板」



「久見崎軍港跡付近の見学」

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 滄浪コミュニティ協議会の副会長さんが分かりやすく説明してくださったので、昔のことを詳しく知ることができてよかった。
- ・ 豊臣秀吉が関係していてすごいと思った。
- ・ 今まで知らなかったことを知ることができてうれしかった。
- ・ 地域のことについて多くのことを知ったので勉強になった。

【教員】

- ・ 身近な場所にある歴史に触れることで、子供たちは地域についての理解を深めることができた。
- ・ 川内川河口には史跡が多く残っており、昔の交通の要所だったということがよく分かった。